

特 集

批

抽

高校の魅力化とは地域創生に向けた

等」が掲げられています。 の施策の一つにも「高校の機能強化 大きな期待が寄せられており、第2期 られている中、高校が果たす役割には 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 いま各地域で地域創生の取組が進め

めには地域創生の観点からも、 共有するとともに、協働して地域の人 じてよりよい社会を創るという理念の るみで生徒から選ばれる魅力ある高校 材を育成することが重要です。 いくためには、よりよい学校教育を诵 づくりを推進する必要があります。 北海道が将来にわたって輝き続けて 学校と地域の連携を深め、 情報を そのた 地域ぐ

12月に作成しました。 協働を進めるために~ 』を令和2年 校魅力化の手引~高校と地域の連携・ 推進するため、 北海道教育委員会では、 『地域創生に向けた高 この取組を

取組を紹介します。 今回は手引の内容や道内高等学校の

学校と地域 地域創生 σ 連携と

ではぐくまれるものです。 ける教育はもちろんのこと、 はぐくまれるものではなく、家庭にお を身につけることが求められています。 作り出し、課題を解決する資質・能力 間として、他者と協働しながら未来を つながりや多様な人々との関わりの中 には、高い志や意欲を持つ自立した人 このような資質・能力は学校だけで これからの社会を生きる子どもたち 地域との

地域社会全体の活性化や魅力の向上に の将来の担い手となる若い人材を育て 果たします。さらにその取組は、地域 な学びと成長の場を保障するだけでな り魅力あるものにしようと連携するこ つながっていきます。 とは、子どもたちの将来のために豊か による人口減少の歯止めとなる役割を 学校と地域が、地域にある高校をよ 人材育成やUターン・Iターン等

手引で考える

好循環を生み出します。 働は持続可能な地域を実現するための このように、学校と地域の連携・協

図のとおり示しました。また、

魅力化

まえ、手引では「高校の魅力化」を下

ことが大前提です。

こうしたことを踏

いては、

様々な捉え方があると考えら

高校の魅力を高める「魅力化」につ 高校の魅力化について

れますが、生徒にとって魅力的である

には、

持続可能な地域の実現



「高校の魅力化」とは?

生徒や学校、地域の実態を踏まえ、地域と連携・協働して社会の変化や生 徒の多様な学習ニーズに対応した教育活動を展開し、生徒の自己実現に寄 与することができる高校づくりを推進することにより、 生徒から選ばれる 学校になること

生徒・保護者にとっての魅力化

どの地域においても、大学進学や就 職など多様な進路希望を実現でき 保護者も安心して進学させることが できる高等学校になること

地域にとっての魅力化

地域と高等学校が相互に連携・協 働しながら地域づくりのパートナ ーとして位置付けられるようにな ること

手引のダウンロ-



QRコードからダウ ンロードできます

参考資料

第2部

実践

第1部 解説編

める上での考え方を説明 作成趣旨や構成、高校の 推進体制の構築や具体的な取組内容 どのような魅力化を進めていくか 高校の魅力化を進

推進体制の構築例、 取組の方向性を提示 具体: 的な取組事

例など参考資料を掲載

らも整理しています。 にとっての魅力化という2つの側面か 徒や保護者にとっての魅力化と、 様々な人が関わることから、 地域 生 熟議

全ての関係者が当事者意識を持ち、子どもたちが抱える課題等の 実態を共有するとともに、地域でどのような子どもたちを育てて

いくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有す

協働 学校と地域の信頼関係を構築した上で、学校運営に地域の人々が 「参画」し、共有した目標に向かって共に「協働」して活動して

マネジメント

その中核となる学校は、校長のリーダーシップの下、教職員全体

がチームとして力を発揮できるよう、組織としての「マネジメン

協働

るために「熟議(熟慮と議論) | を重ねること

いくこと

ト」力を強化すること

マネジ

メント

地域とともにある

を育む 共有し、地域と一体となって子どもたち かという目標やビジョンを地域住民等と 地域とともに発展していく必要がありま 学校は地域社会の中でその役割を果たし、 たちを育てるのか、何を実現していくの 社会総掛かりでの教育を実現する上で そのために地域でどのような子ども 「地域とともにある学校」の運営

い機能として再認識することが必要です。 て「熟議・協働・マネジメント」 運営にあたっては備えるべき機能とし これからの学校運営に欠かせな の3つ

推進体制 の 構

が広範囲にわたることに留意する必要が

なお、

市町村では地域学校協働活動の

域とともにある学校」への転換を図るた 議会を設置する学校のことであり、 ミュニティ・スクールとは、学校運営協 推進体制の構築が必要です。その一つに めの有効な仕組です コミュニティ・スクールがあります。 学校と地域が連携・協働するためには、 地 \Box

校

より入学する学校であるため、 務教育諸学校とは異なり、 ていくことができます。 営に地域の声を積極的に生かし、 体となって特色ある学校づくりを進め コミュニティ・スクールでは、 高等学校は、 生徒の選択に 通学区域 地域と 学校運 義

> 進や学校の魅力化に資するもので、 の改善につながり、キャリア教育の推 しかしながら、 運営協議会の設置は有効です 協力を促進することは、 広く地域や社会の 学校運営 学

画

地 域 学校(コミュニティ・スクール) 地域学校協働本部 学校運営協議会 学校運営・その運営に必要な 支援に関する協議など 学校と 地域学校協働活動 目標やビジョンを 共有 人材・活動などの コーディネート 委員として参画 地域学校協働活動 推進員 地域と目標やビジョンを共有

コミュニティ・スク ールと地域のかかわり

具体的な取組に向けて

のさらなる充実が期待できます。

本部が連携・協働することで、学校運営 ており、学校運営協議会と地域学校協働 推進に向けて地域学校協働本部を整備し

(力化に向けて具体的な取組を検討

民からの要望や意向を的確に把握する 述のコミュニティ・スクールや連携す び地域の現状を把握するとともに、 のデータに基づき、 ていく必要があります。 地域の要望などを把握し、 するにあたり、 ことが重要です る組織などを活用し、 検討にあたっては、 各学校は現状や課題、 生徒の姿や学校及 保護者や地域 各種調査結果 方策を考え 住 前

世代の蓄えとなり、 在の地域の価値の再発見や将来を担う わる取組を通じて、 た取組を検討します。 保障する取組や、 の将来の夢や希望を実現できる環境を みだすことにつながります。 、の愛着や誇りをはぐくむことが、 把握した内容をもとに、 地域を学びの場とし 子どもたちに地 魅力ある地域を牛 地域と深くかか 子どもたち

取組事例を紹介します した教育活動を推進する道内市町 パージからは、 地域を学びの場と 村の

02

学びの場とし

地域の担い手となる人材を育成できる 愛着や誇りを育むことが大切であり、 取組を通じて、 的です。 がら課題を解決し、 てられる環境により地域としての魅力 だけでなく、 資質・能力を育成するために大変効果 進することは、 を生み出す効果が期待できます。 地域を学びの場とした教育活動 地域を学びの場とした教育活動 また、 安心して子どもたちを育 生徒が他者と協働 子どもたちに地域への 地域創生の観点からは 未来をつくりだす

> まちづくりワークショップ 地域課題探究型の学習活動

を行い、 切」などの意見が出されました。 者と触れ合う機会をつくることが ます。 話しながらまちづくりの戦略をつくっ 映させるため、 な生活を送るためには、 生8名程度がグループを編成して協議 たい町の姿を考え、 策定に向け、 ていくワークショップ) よるワークショップ 岩内町では、 岩内町職員2名と岩内高校2年 「子どもから高齢者まで豊か 地元の高校生の意見を反 ローカルダイアログに 次期町総合計画大綱 カードを使って対 (自分たちが住み を実施してい 定期的に高齢

次のようなものがあります。

(岩内町の例

源について様々なことを学び、 ビジネス」において、 爺湖遊覧船観光ガイド育成プロジェク トを実施しています。 を生かした観光ガイドプランを考え 町に関する地理や観光などの地域資 虻田高校では、 学校設定科目 3年生は、 「地域

秋には、 行ってい にガイド 覧船で実際 遊 を

の

地域の特性や学びの場の確保 遊覧船観光ガイド」 、虻田高校の例

高校生による洞 その知 洞爺

ゲーム

H U G

(ハ グ)

の標津町

版

を製作し、

町民の防災意識を高める取

災害時の避難所運営を模擬体験できる 標津町危機管理室の協力を得ながら、

標津高校では、

生徒会が中心となり

組を行っています

標津町版オリジナルHU

Ğ は、

地

域

介護老人福祉施設の 入居者を対象とした ガイド研修の様子

れています



遊覧船観光ガイドの研修内容

ローカルダイアログ によるワークショッ プの様子

地域を学びの場とした教育活動

3. 地域の人材等の活用や異年齢集団での活動

5. 道外からの入学者や地域留学の受け入れ

2. 地域の企業等と連携したキャリア教育

1. 地域課題探究型の学習活動

4. 地域の特性や学びの場の確保

研修(洞爺湖周辺ガイド研修)

講義(洞爺湖の自然・イベント、ガイド術等)

有珠山ロープウェイ研修

観光ガイドプランの立案など

模擬ガイド(同校2年生、地元中学3年生)

ガイド研修(道外高校生、地域住民)

【HUG (ハグ) とは?】

避難所運営を皆で考える ための一つのアプローチと して静岡県が開発したもの。 避難所の年齢や性別、国籍 やそれぞれが抱える事情が 書かれたカードを、避難所 となる体育館や教室に見立 てた平面図にどれだけ適切 に配置できるか、また避難 所で起こる様々な出来事に どう対応していくかを模擬 体験するゲーム。



標津町版オリジナルHUGで使用する カード。住民・イベント・情報提供の 3種類で構成されている。



変化や感染症等をカードに盛り込む 成しており、ヒグマの足跡 ハザードマップを参考にカードを作 短時間で終了できるよう工夫が 外気温の

避難所運営ゲームの製作 域の特性や学びの場の確保

標津高校の例

03

地域創生やSDGsの観点からの探究活動の例

- 高等学校・地方自治体・大学の三者の協定締結によ る高校生が主体的に地域課題を考える取組
- ソーシャルビジネスの手法により地域の課題を解決 する取組 (SBP)
- 中学生・高校生が連携し、市町村の魅力について市 町村部局に提案する「子ども議会」の取組
- 総合的な探究の時間や特別活動を活用し、地域課題 をテーマとした探究的な学び
- 市町村と連携した「タウンミーティング」の実施
- 振興局と連携した地域振興策の企画・提言

つべつ学 | の学習計画(1年生)

オリエンテーション

(ねらいや探究活動の手法等の説明)

津別の自然

(津別の気候・地形・動植物、観光スポット等)

「地域学」等の学校設定科目の開設

域づくりにとっても重要です 課題を解 する学校設 できます。 特色ある教育課程 導要領で示された教科 ている学校があります 創生やSDGsの観点から取組 課題探究型の学習活動 独自に学 むことができるため 成者として必要 高校では、 3課題 決しようとする態度や社会の 定科目 その中で地域のことを学習 ,校設定科目を設けることが 等を発見し、 国語や数学などの学習指 な資質 を編成するため、 「地域学」 の ・科目のほかに 持続可能 中には、 解 ・能力をはぐ 決する地 は を行っ 地域 地域 学

域

目標

学校設定科目

津別高校の例

課題研究に取り組みます

動を展開しています。 校設定科目 業として地域全体を学びの場とする学 の人材や教育資源を活用した教育活 「つべつ学」を開設. 地

「つべつ学」

別高校では、 1~3年生までの授

生徒が地 を持ちながら地域課題の解決に向け 教育機関 津別町 農業、 域 などと協働 の自治体や企業、 は社会の 酪農業、 一員であるとの意 畜産業 津別町 を学ぶほ N P O の自 法

施

教育資源を活用した探究的 を育成します。 社会において地域社会に貢献する態度 力を身に付けるとともに、 地 域 基礎 全体を学びの場として、 的 な課 **問発見** グローバ: 課題解決能 な学び 地 を実 ル

津別の農業

(津別の農業の特色、津別産原材料の特産品)

北大との高大連携事業

(未来ワーク、北大での特産品販売)

津別の畜産・酪農業

(酪農と畜産の違い、津別の畜産・酪農業)

報告会等

(学習成果の報告、津別町への課題解決策の提言)



唐辛子の栽培体験



農業体験で説明を受ける生徒

学校設定科目「上士幌学」(上士幌高校の例)

【対象学年】3年生

【目標】自分の暮らす地域について学ぶことで、地域を理解し、地域 を大切にし、将来にわたって地域社会に貢献し、持続可能な 開発を担っていこうとする態度を育成します。

【内容】

- 〇北海道にある十勝、上士幌町の歴史・地理の学習
- 〇北十勝の自然に触れ、自然環境について学び、どのように十勝の 自然を守っていくか考える力を養成
- 〇地域の食材について学ぶことで、地域の食材について理解と関心 を深め、食材を生かした特産品の開発と販売について体験
- ○地域産業について学び、仕事での心構えを学習

学校設定科目**「松前学丨」**(松前高校の例)

【対象学年】1年生

【目標】松前の歴史、文化、産業、自然等を学んでいく中で、松前を 知り、松前を愛する心を育てるとともに、単なる知識(基礎 カ)だけではなく、自ら主体的に学ぶ行動力と探究力を育成 します。

【内容】

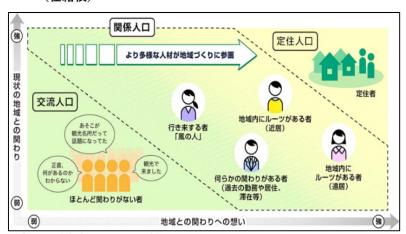
- 〇松前の歴史、文化、産業、自然等の学習
 - 3年間の松前学の導入として、松前に関する基礎的な知識を身に 付ける学習。史跡巡検や郷土芸能体験を通じて理解を深めます。
- 〇テーマ別研究及び発表
 - 個人又はグループでテーマ設定。校内・地域へ発表。
 - (例) 松前藩主の研究、郷土菓子の歴史、蠣崎波郷と夷酋列像

地域留学の取組

地域留学

在籍する高等学校とは別の 高等学校おいて1学年を過ご 高校1年生

高校2年生 高校3年生 北海道の公立高校 (在籍校)



域留学とは 関係人口の 創 出 5

域留学」を実施しています。 府の「高校生の地域留学推進のための 係人口の創出・拡大をめざして、内閣 高校魅力化支援事業」を活用し、 海道教育委員会では、 将来的な関 地

得ることができ、 な移住者の拡大等に寄与することが期 より、 地域 の魅力を再発見する機会を 地域活性化や将来的

生を受け入れています。 学校で1年間を過ごす7名の地域留学 ています。道内では、鵡川高校、 留学生が全国各地で地域留学を開始し 今年度、第一期生となる24名の地域 幌加内高校の3校がそれぞれの 斜里

> ととらえ、これからの社会に対応した新 な地域資源のある地域全体をキャンパス ゙むかわ竜」「ししゃも」とユニーク

の社会で求められる想像力を育てる。 特性を伸ばす少人数学習で、これから 地域をキャンパスとする「むかわ学」

物館などとの大学連携も強化しています 桐生大学短期大学部、北海道大学総合博 験といった恐竜研究や、北見工業大学、 授をオブザーバーとした、化石の発掘体 第一人者である北海道大学の小林快次教 でそれぞれの特性や能力を伸長させる を設定した少人数・習熟度別のグループ 習)、生徒の特性や能力に応じたテーマ 付ける「むかわ学」(地域課題探究学 る態度や課題を解決する能力などを身に しい価値を創造できる力をはぐくみます に地域振興の観点から地域社会に貢献す 「チャレンジ・スタディ」(テーマ別学 学びの特徴としては、地域資源を題材 が挙げられます。日本の恐竜研究の

地域に継続的に多様な形で関わる「関

すことが大切です。そのため、特定の には、それぞれの地域に活力を取り戻

持続可能な地域づくりを進めるため

高校、

係人口」の創出・拡大が注目されてい

「関係人口」として関わることに

地域にとっては、地域外の人間





「むかわ竜」の全身骨格レプリカ



「むかわ学」発表の様子



(むかわ町)



(斜里町

世界自然遺産・知床半島のオホーツ まちのブランディングを学ぶ。 ク海に面した港町。「観光教育」で

感できる教育をめざします。 方や生き方を見つめ、 地域全体で進める「知床しゃり」のブ 世界自然遺産「知床」で、自分の在り 成長した自分を実

動を行う「観光ビジネス」などを授業と 信できる人材を育成します。 を知り、地域課題に理解を深め、 園)」を通して「知床しゃり」のPR活 高等学校観光選手権大会(観光甲子 ドウォークや森林再生活動を体験する 論」、世界自然遺産エリアの原生林ガイ 性を学ぶ野外授業を含む「知床自然概 して展開しています。地域の素晴らしさ 実施する「史跡発掘体験学習」、「全国 アイヌ時代にわたる遺跡・史跡めぐりを ランディングの取組と連携し、 に注力しており、知床の自然や生物多様 「知床自然体験学習」、旧石器時代から 観光教育



授業の様子

料里町の夕日



地域留学生が「チャシコツ岬上遺跡」 (斜里町) を見学し

「幌高商店会」、生徒が作った生そば、

そ

ます。

校内で生産した農産物を販売する

実践的な「六次産業化」を学ぶことができ

高校で、

生産、加工、

流通・販売を通して



ある朱鞠内湖での 取り入れています 山でのスキーなど 帯であるほろたち 北海道一の豪雪地 体験のプログラム フィッシング、森 アウトドア体験も 自然を満喫できる なお、人造湖で

そば生産量日本一のまちの実践的な 流通・販売を一貫して学ぶ。 (幌加内町)

「そば生産量日本一のまち」の農業科の 「六次産業化教育」、生産から加工、



地域留学生と地元生徒との対面式の様子



そば打ちの様子

位を取得可能です。町内の道の駅にはそば

「そば」を設置しており、素人そば打ち段

る高校として、全国で唯一、学校設定科目

また、「そば生産量日本一のまち」にあ

の販売活動などを生徒主体で実施すること ば粉で作ったパウンドケーキ等の町内外で

経営力を育成します

のつながりを深める場ともなっています。 店も出店しており、販売や出店は、地域と



一CTパークの誕生

備も完備しています。 備え、大会を盛り上げる照明・音響設 も珍しい、劇場スタイルのホールです。 で、eスポーツ施設としては全国的に 映画館、旭川国民劇場を活用したもの この会場は、市民に親しまれてきた元 導入し、道内最大級となるeスポーツ 先端の通信技術であるローカル5Gを 市にeスポーツを核としたICT拠点 高まっているなか、令和3年2月、旭川 技として捉える「eスポーツ」の人気が ステージ上には大型LEDビジョンを 大会開催会場「コクゲキ」を構えます。 『ICTパーク』がオープンしました。 市内中心部に位置する本施設は、最 コンピューターゲーム等をスポーツ競

また、施設内には e スポーツ用のトレーニングジムも整備。高性能ゲーミングチェアやヘッドセックPC、ゲーミングチェアやヘッドセットなどの周辺機器を完備しています。 e スポーツ大会としては、オープニングセレモニーで「ぷよぷよ e スポーツ が行われたほか、3月には「コクゲキが行われたほか、3月には「コクゲキが行われたほか、3月には「コクゲキが行われたほか、3月には「コクゲキが行われたほか、3月には「コクゲキーション」

ンマッチも開催されました。V」で熱戦を繰り広げるエキシビショ9市町長が「ストリートファイターロ野球2020」、また4月には周辺

なる活用が期待されるところです。可能な施設となっており、今後、さら授業など幅広い用途に対応することがブビューイング、シンポジウム、学校を始めとして、スポーツ・音楽のライをのような本格的な e スポーツ大会

旭川市の現状と課題

課題となっていました。 課題となっていました。 課題となっていました。 課題となっていました。 課題となっていました。 世には、中高生や大学生等の若者が楽しかる場所が少なく、まちなかに人を呼びめる場所が少なく、まちなかに人を呼びめる場所が少なく、まちなかに人を呼びめる場所が少なく、まちなかに人を呼びめる場所が少なく、まちなかに人を呼びめる場所が少なく、まちなかに、というに関していました。

ました。
また、学校では順次プログラミング教また、学校では順次プログラミング教また、学校では順次プログラミング教また、学校では順次プログラミング教また、学校では順次プログラミング教また、学校では順次プログラミング教



トープーングセレエニーの样



旭川市



次に、子どもたちが楽しく理解を深



コミュニケーションロボッ プログラミング的思考体験 トなど を活用した



高性能ゲーミングPCを完備したeスポーツのトレーニングジム

CTパークの整

解決をしていく必要がありました。 にもAIやIoT技術を活用して課題 IT関連企業の誘致のほか、

地域産業

を推進しており、

旭川市においても

さらに、

国では積極的なデジタル化

するため、 ロジェクトを進めることとしました。 な価値を創出し、 施設の整備にあたっては、施設所有者 市では、 ICTパークによって新た このような課題に対応 地域活性化を図るプ

段状の観覧席を有する形状により迫力 施設は、中心市街地という立地と、 が進められました。元映画館であった がきっかけとなり、連携して事業を進め う申出と改修費用を負担いただいたこと たとない環境でした。 とから、ICTの拠点とするには、 のあるeスポーツ観戦が期待できるこ ているNTT東日本の協力のもと、改修 から「地域貢献に活用して欲しい」とい 階 ま

期待される役: CTパークに

れることが期待されます と連動した市中心部のにぎわいが生ま で世代を超えた交流やまちなかの取組 まず挙げられるのは「eスポーツ拠 スポーツを通じて、学生からシニアま ICTパークに期待される役割で、 としてのにぎわいの創出です。 e

> 思考体験拠点」としてもその役割が期 き出す新たな居場所となります。 で生まれる活躍の場は、 待されています。 めることができる「プログラミング的 多様な子どもたちの可能性を引 また、 不登校生徒も ICTパーク

が生まれ、人材育成や地域活性化にも 境がつくられることにより新たな交流 つながります。 さらに「ICT関連推進拠点」 IT関連企業の誘致のほか、 関心の高い人材と企業が繋がる環 I C

今後に向けて

活用し、 ています とした大会を開催することも予定され 運営費には国の地方創生推進交付金を る事業などについて検討しています。 を核としたにぎわい創出の推進に関 施設運営の基本的な方針やeスポー 活用するほか、 ーク推進協議会」において、 まざまな団体で組織する 民間企業や関係団体、 協賛金をいただいた企業を冠 企業版ふるさと納税を 教育機関など I C T 今後

するための取組を行っていきます。 や交流会などを通じて新たなコミュー することで、eスポーツの理解を促進 の未来をテーマとしたセミナーを開催 文化・教育・観光・食・経済など地域 ティの形成や、eスポーツを活用した 会だけではなく、eスポーツの体験会 ICTパークでは、 eスポーツの ICTパーク周辺地図 ●中里メガネ 白木屋● 〒070-0033



オープニングセレモニーでのデモンストレーション (秋葉原の選手と旭川市の代表者がオンラインで対戦)



本記事の内容は、北海道上川総合振興局地域政策課で担当しております。 ○事業に関するお問い合わせ先 旭川市経済部経済交流課(0166-73-9850) 〇企業版ふるさと納税に関するお問い合わせ先 旭川市総合政策部政策調整課(0166-25-5358)

業人』の取組を紹介します

協働のひとつの形である『地域活性化起 ことが必要です。今回は自治体と企業の 借りて協力しながら地域を運営していく

体による政策だけではなく、

民間の力を 地方自治

豊かな地域を創るためには、

批

活用自治体紹介

長沼町

なお、起業人の受け入れ等に要した経 決定します

活用自治体の推移

本制度を活用している自治体は、 令和3年度では起業人の受け入れを

費は特別交付税によって措置されます。

自治体が希望する起業人の活動分野は観 希望する自治体も多く、4月時点で既に は 産品開発、地域経済の活性化等に資する 光振興が最も多く、次いでICT、地域 77自治体9名の新規募集がされています いて148名が活躍しています。さらに おり、令和2年度には全国8自治体にお おこし企業人の開始時から年々増加して

いうとは、

令和3年度に総務省が創設

地域活性化起業人(以下「起業人」と

地域活性化起業人とは

)た地域活性化起業人制度により企業か

北海道 年度 全国 25 (28) 1 (1) H27 H28 32 (37) 4 (4) H29 50 (57) 7 (8) H30 56 (70) 7 (8) 65 (95) 7 (9) R1 R2 98 (148) 9 (12)

地方への人の流れを創り出そうという 業務などに従事し、自治体と協力して 知見を生かしながら地域の魅力や価値

る民間企業等の社員がそのノウハウや

制度の内容は、三大都市圏に所在す

を刷新したものです

(材となっています

ム」という名称で推進されていたもの

「地域おこし企業人交流プログラ

の向上、地域経済の活性化につながる

関する派遣形態や勤務条件等を協議の

3年であり、自治体と企業は起業人に ものです。期間は最短6か月から最長

活用自治体数の推移(括弧内は人数) (総務省ウェブサイトから抜粋)

双方におけるメリット

のメリットがあります。 体と派遣先民間企業の双方にとって多く この制度を利用することは、受入自治

ジタル化の推進など、これまで企業で培 企業支援、中心市街地活性化の支援、デ 地域特産品の販路開拓のほか、地域中小 ティング技術を活かした観光客の誘客や 例えば自治体は、民間企業のマーケ

の提供にもつながることが期待できます

形で社会貢献を果たすとともに経験豊富

なシニア人材への新たなライフステージ

また、

地域と交流を持つことで、新たな

により人材を育成することができます。

いさまざまな経験を社員に積ませること 企業にとっては、会社では体験できな 課題の解決に取り組むことができます。

われ蓄積されてきた専門知識や人脈を活

外部の視点を取り込みながら地域

三大都市圏外の市町村 人口減少率が高い市町村

特別交付税措置

- ・派遣元企業に対する負担金など起業人の受入に 要する経費(上限額:年間560万円/人)
- 起業人の受入準備経費

(上限額:年間100万円(措置率0.5)/団体)

期 間

6か月~3年

地域活性化起業人の概要(総務省ウェブサイトから抜粋)

地域活性化起業人制度 (企業人材派遣制度)

対 象 者

の制度は平成26年度から令和2年度ま ら自治体に派遣される社員のことで、こ

三大都市圏に所在する企業等の社員(在籍派遣)

受入団体

- 大都市圏内の市町村のうち、条件不利地域を 有する市町村、定住自立圏に取り組む市町村及び

活動内容

地域活性化に向けた幅広い活動に従事

- ・起業人が発案、提案した事業に要する経費 (上限額:年間100万円(措置率0.5)/人)

道内で活躍する起業人の方に聞 は弊社が提供するIP告知端末とスマ 市町村職員として働いてみて 喜茂別町では住民に対する情報

INTERVIEV

令和3年度から派遣

喜茂別町

怜子さん 田村

と比べるときめ細やかだと感じました

外部に対する情報発信については

ムページなどしかなく、

改善が必

ホアプリを活用しており、

他の市町村

≪派遣元企業≫ ジャパンケーブルキャスト(株)

日をおくっています。 人とのふれあいを大切にするなどして毎 派遣にあたって

います。

な仕掛けや取り組みが必要であると思

いので現段階ではどのような地域資源や

ではなく、

住民が率先して動けるよう

人がいるのかなどを調査し、その合間に

知名度アップと、関係人口の増加を目指 し活動しています。着任してまだ日が浅

覚的に伝える必要があります。

また、

行政主導で事業などの物事を進めるの

元企業:(株)JTB)とともに、

町の (派遣

あること、

動画や画像など、

情報を視

めに、

まずはHPの充実を行う必要が

要だと思いました。

広くたくさんの人に知ってもらうた

緒に起業人となった高橋さん

市町村での仕事

情報配信サービスを提供しており、他社 道内町村の番組制作で現地レポーターと モーションを得意としています。私も、 ではできない弊社ならではのシティプロ 弊社は全国各地のケーブルテレビ局に

あり、 ぐに引き受けました。 う強い思いから、 お役に立ちたいとい 魅力をもっと知って のこともあって町の あった時には、当時 して携わったことが 派遣の依頼が す

元協力隊員との打ち合わせ

ています。「NPO法人北海道ベース

にとって非常に重要なものであると感じ 「女子野球タウン」プロジェクトは、町 今年度から動き始めようとしている 今後の取組・展望について

ホームタウン化など、女子野球を軸とし 球クラブ「ホーネッツ・レディース」の 盟」との連携協定、北海道唯一の女子野 ボールクラブ」と「全日本女子野球連 の情報を各種メディアや手法を用いて発 て様々な取り組みを融合させ、喜茂別町 けるように「きもべつプロモーション」 を進めていきたいと思っています! 「きもべつファン」を増やしてい

長沼町

た



長沼町政策推進課 平林 毅一郎さん ≪派遣元企業≫

公益財団法人日本生態系協会

取組の成果やエピソード

変える取組です。地域の皆様とどう歩ん

生活環境、

産業・雇用、

将来の町の姿を

でいくかがとても大切だと考えています

市町村での仕事

昨年5月、

道央圏では100年以上ぶり

いなかったかと思いますが、予測を超え

イメージを具体的に持てた人はほとんど

取組の当初、

町にタンチョウが暮らす

たスピードでタンチョウはやってきて、

地域間交流などの社会形成、農業や観光 生息環境を整備して定着を図るとともに などの経済振興を推進しています。 タンチョウをシンボルとした環境学習や くり」に取り組んでおり、タンチョウの 局とともに「タンチョウも住めるまちづ 私は役場内で本取組の専門員として各 長沼町は、平成28年度から北海道開発

商品を開発・販売するなど、少しずつ町

内外からの注目が高まっているのを感じ

多くの人が訪れ、町内のお店や工芸作家

のヒナが誕生したニュースが話題となり

人工の湿地では世界初となるタンチョウ

さんなどがタンチョウをモチーフにした

種企画調整、 事業の実施を行っています

派遣にあたって

り地域に溶け込んで取組を進めていこう ということで職員の派遣が決まりました 産業などの人間活動と両立し、さらには 保全すべき自然を有機的に繋ぎ、生活や 価値や魅力を高めていく取組のことです んできました。生態系ネットワークとは "生態系ネットワークづくり " に取り組 この活動の中で長沼町とご縁ができ、よ 日本生態系協会は、 以前から全国で

今後の取組・展望について

のかを、 います。 じた地域活性化が広がることを期待して いくことで、全道、 共生が地域にどのような価値をもたらす ではないかと思います。タンチョウとの 制度を活用している例は、他には無い 自然保護団体のノウハウ導入に起業 具体的イメージを携えて伝えて 全国に自然保護を诵

識し仕事をしなければいけません。

多様な考えを汲み取りながら、

公共を意

市町村職員として働いてみて

地元のあらゆる団体や個人の

ンチョウも住めるまちづくり」は自然環境



本記事の内容は、北海道総合政策部地域政策課地域活力係で担当しております。 〇お問い合わせ先 TEL:011-204-5791

北海道の魅力的な地域や人とつながるヒントをお届け!



広い広い北海道の地域〔ローカル〕に目を向けてみれば、 ふだんは関わることのなかった、すてきな地域や人の魅力にたくさん出会えるはず。 それはきっと"味わい深い"もの。

地域の仲間たちとシェアする素敵な時間。新しい何かを見つける場所。

そんな**地域との関わりという"おいしいレシピ"**が生まれるところ。

誰かに教えたくなるような、でも内緒にしておきたいような それはまるで、秘密基地のような"ひみつのキッチン"。

「ひみつキッチン」で一緒に"おいしいレシピ"を味わってみませんか?

ツナガル・カカワル

地域と"どんな関わり"ができるのか? 様々な地域の気になる情報を掲載!





テレワークモニターを募集しています! 美瑛町では、すぐれた農村景観や旭川空港とのア 【モニター募集の例】



北海道カカワル プロジェクト

地域で魅力的なかかわり方・ 働き方をしている人々を紹介



参加無料







みんなが実践している "おいしいレシピ"を公開中!! 詳しくはWebで!

【地域活動への参画募集の例】

むかわ地域商社「M Dino」サポーターズ倶楽部のメンバー募集

オンラインイベント 開催 🎉

道内地域で活躍する方々をゲストに迎え、

地域と関わるきっかけをつくるトークイベントをオンラインで開催! 気軽に視聴できる会や意見交換ができる会など、

様々な会を予定しております。詳細はWebで随時更新していきます!





これまでのイベントも 01 ~ 07 YouTubeで配信中!



【お問い合わせ先】北海道総合政策部地域創生局地域戦略課地域創生係 電話:011-204-5131(直通)



「創る」バックナンバーは、"ほっかいどう応援団会議ポータルサイト"へ

QRコード読取で バックナンバー

ほっかいどう応援団会議

URL: https://hkd-ouendankaigi.jp/info/tukuru.html